



環境市民としてともに行動しませんか わがまちさやまそして地球のために

市民主体の「さやま環境市民ネットワーク」が発足

12月6日、人間川小学校講堂で「さやま環境市民ネットワーク」の設立総会が開催されました。総会には約200名が参加し、設立に係る会則・役員・事業計画などを決定しました。また、ネットワークへの期待と活動について意見交換が行われ、「みどりを友とし地球にやさしい都市さやま」の実現に向け、市民組織による環境まちづくりがスタートしました。

環境に学び、体験し

問題改善に向け行動する

環境への取り組みは、これまでも市民・事業者・市民団体・行政が、それぞれの立場で努力してきましたが、身近な緑の減少、水辺の汚染、ごみ問題など、まだ満足できる状況にはなっていないです。さらに、地球温暖化などの地球環境問題は深刻さを増しています。

また、平成10年3月に策定した狭山市環境基本計画は、多くの市民が参画して見直され、昨年3月に新しい環境基本計画が発表されました。

よりよい環境づくりのためには、まず私たち市民一人ひとりが、環境に学び、環境を体験し、環境問題の改善に向けて

行動する。環境市民となって環境にやさしいまち・暮らしの実現のために積極的に行動していくことが必要です。

一緒に行動しませんか

環境保全活動は、さまざまな立場の方々が一緒に本音で語り合い、その中からお互いの立場を理解し、行動していかなければなりません。

さやま環境市民ネットワークは、「環境市民として行動しませんか わがまちさやまそして地球のために」を合言葉に、市民・市民団体・事業者がお互いを理解し、自分のできる環境保全活動を、狭山の地「で行動していくために集まった、市民主体の組織です。」

皆さんも、「さやま環境市民ネットワーク」の会員になって一緒に行動しませんか。

会員の対象

市内在住・在勤・在学の個人
市内で活動している団体、市内の事業所

活動内容

- ① 環境に関する情報提供、普及啓発
 - ② 協働による環境まちづくりの実践
 - ③ 会員相互の交流、ネットワークづくり
 - ④ 目的推進のための事業
- その他、会員は関心のある分科会やプロジェクトに所属して活動します

年会費

個人1千円 市民団体3千円
事業者一口5千円

問合せ環境政策課内さやま環境市民ネットワーク事務局へ
内線3671



市長随想 ④



狭山市長 仲川 幸成
似顔絵・池原昭治氏

明けましておめでとございませう。今年はこんな年にしたい」と、それぞれの願いを込めて新春をお迎えのことと存じます。社会経済は、長年沈滞していた景気が明るさを取り戻しつつあると言われていますが、一刻も早い本格的な回復が望まれるところです。さて、お正月といえは、指折り数えて待っているような子ども時代でした。弓破ゆみは魔まや羽子板を床の間に置き、お供え餅にしめかざりを飾り、雑煮やおせちを食べながら年賀状を待ち、初もつでに行ったり、たこ揚げ、羽根つき、こま回しをして遊ぶ、普段とは違う特別な日でした。

経済の高度成長は離農を促し、生活水準を上げた反面、長く伝えられた人生の儀礼や家の中の年中行事が簡素化したり廃止されてしまいました。七草がゆ、蕪玉むらたまやぶ入り、えびす講と、農家や商家にとって一月は多くの行事がある月であり、それがそのまま休日となつて明日への活力を蓄えました。しかし今、寂しく思うことは、生活に季節感がないことです。行事ももちろんですが、野菜や果物に「走り」や「旬」がなくなつてしまいました。それは技術の改良や国際化など、私たちを取り巻く環境の変化からきていると考えます。私は、人生に喜怒哀楽があるように、春夏秋冬、暑さや寒さをもっともと感じる暮らしを、人々が望んでも良いのではないかと思う今日このごろです。

市長の主な動き

12/1...定例庁議 12/2～17...第4回定例市議会 12/6...さやま環境市民ネットワーク設立総会 12/14...クロスカウンター IN SAYAMA、水野の森クリーン作戦 12/15...環境審議会、年末年始交通事故防止運動出陣式 12/16...環境浄化功労者への感謝状授与 12/25...定例庁議 12/26...辞令交付式 12/29～30...消防団歳末特別警戒激励巡回

■新狭山駅のバリアフリー化が進行 エレベータと障害者対応型トイレが利用できます

12月24日、西武新宿線新狭山駅に、エレベータ4基と障害者対応型トイレ1か所が設置されました。これにより、高齢者や障害者をはじめ、だれもが利用しやすい駅となりました。



問合せ企画課へ内線7132

■狭山市・人間合併協議会の設立準備会を設置しました

12月10日、人間市と地方自治法および市町村の合併に関する法律に基づく合併協議会の設立を協議するため、狭山・人間両市の市長が調印して、「狭山・人間市合併協議会設立準備会」を設置しました。今後、この準備会で、合併協議会の規約や組織などを協議していきます。

問合せ企画課へ内線7132

■市役所庁舎内から出る廃プラスチックと生ごみのリサイクルに取り組んでいます

市では、循環型社会の形成と環境負荷の軽減を図るため、家庭で不用となったプラスチック類を分別収集し、リサイクルする「廃プラスチックリサイクル事業」を進めています。



11月からは狭山台地区と水富地区の約1万4千世帯を対象に実施し、また、生ごみを回収し、肥料としてリサイクルする「生ごみリサイクル事業」参加世帯も、現在、約2千400世帯に広がっています。これらの事業を市民皆さんと推進していくために、市役所でも、市庁舎から出る廃プラスチックや生ごみのリサイクルに職員全員で取り組んでいます。

問合せ生ごみ資源リサイクル推進チームへ内線3631